

宮井孝和さんが手に乗せて見せてくれた天然遡上でプロポジションがきれいなアユ

# 四季折々の友釣りが楽しめる穏やかな流れの中河川

ありだ が わ

# 有田川ダム下

大型こそ少ないが豊富な天然遡上と放流量で5月1日の早期解禁日から10月末の終盤まで中小型の数釣りができる。京阪神からも近いため、どっとファンが押し寄せるポイントに困らないうれしい川！

解説◎宮井孝和 & 下田成人

(宮井孝和=すべての本文とエリア4のポイント写真解説。下田成人=エリア1~3のポイント写真解説)



「こんなアユが釣れますので、ぜひ釣りに来てください！」と下田成人さん



エリア4の駅裏で、お目当てのポイントをめざす宮井さんと下田さん

撮影は2013年10月14日。サイズは22cmぐらいまでだが、この時点でもまだまだアユは若い。この日もめぼしいポイントは多くの釣り人で賑わっていた

放流量も豊富で初期は放流アユ、中期からは天然ものもターゲットになり、季節に応じた友釣りが楽しめる河川である。

地元和歌山に加え京阪神からの釣り人も多く、川口の白石の瀬内からでもICから車で25分、大阪市内でも1時間半で釣り場に到着する。近年は全国レベルの友釣り競技会が開催されている関係で、遠くは関東地方、中部地方、四国地方、中国地方などからのトップクラスの釣り人の姿も見ることがある。

アユのサイズは遡上量によって違い、当然遡上量が多い年は小型が多くなり、逆に遡上が少ない年はサイズがよい。平均的には14~22cmで26cmを超すような大型はあまり期待できない。というよりも穏やかな中小河川であるがゆえにサオ抜けのポイントがほとんどなく、魚が大きく育つまでに釣られてしまふからだろう。

早期解禁日は全国トップの5月1日で終盤も台風の影響で増水しない限り10月20日ごろまで充分友釣りが可能。遅い時期まで楽しめるのは天然遡上さまで特に9月には想定外の数釣りができる。このように半年近くもアユ釣りができる河川は他県にもそう多くないはずだ。有田川だけではないと思うがアユ釣りに必要な駐車スペースの問題がある。特に消防用道路はその地域で火災が発生した際に消防車が降りられるようにしたものなので、絶対に駐車しないようにお願いしたい。

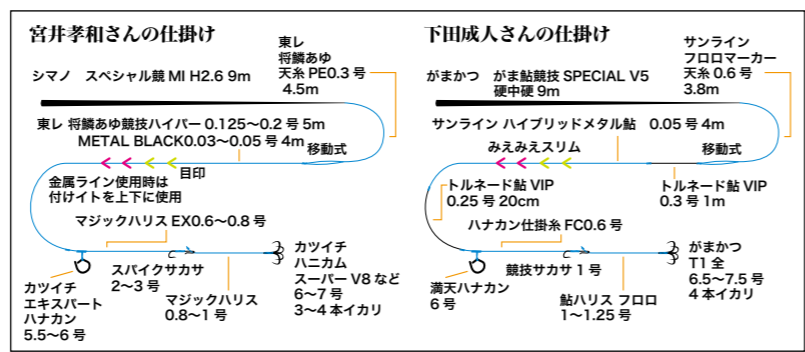
最後に私とエリア1~3のポイント写真の解説をお願いした下田成人さんの仕掛けと有田川攻略方法について。私の場合、初期から梅雨明けまでの水量が多く低水温の時期は金属や複合メタル水中イトを使用するパターンが多い。これは初期のアユはナワバリを持つ

## 全国トップの5月1日解禁！

有田川の二川ダムより下流域を釣り人は有田川ダム下と呼ぶ。規模的には中小河川で大滝など岩が粗く急流の場所もあるが、流れはおおむね穏やかで女性でも安心して釣りができる場所が数多くある。たとえば上流からあげると栗生から川口地区、松原地区から下流など。アユは天然遡上に加えて



まで時間がかかるのでピンポイントで時間がかかると釣るほうに効率がいいから。下田さんはシーズン中ほとんど複合メタルを使用し、早瀬や少し水深のある大石周り、岩盤のポイントをねらう。石の周辺で少し止めて反応をみて追いかければオトリを次の石へと動かして攻めていく。梅雨明けからは天然の海産アユもベストシーズンを迎えるので、私はナイロンやフロロの水の中をメインにする。2人とも泳がせ釣りが主になり、下田さんは水深20cmほどのチャラ瀬など「こんなポイント釣れるの?」と思うような場所でも石の色がよければ一度はオトリを通す。思わぬ入れ掛かりになることがあるそうだ。



有田ICを降りてすぐにいろいろなポイントにアクセスできる。有田川のダム下エリアは、京阪神からも近く天然遡上が多いため10月下旬まで友釣りが楽しめる

# 二川橋、岩倉橋 & 四村川

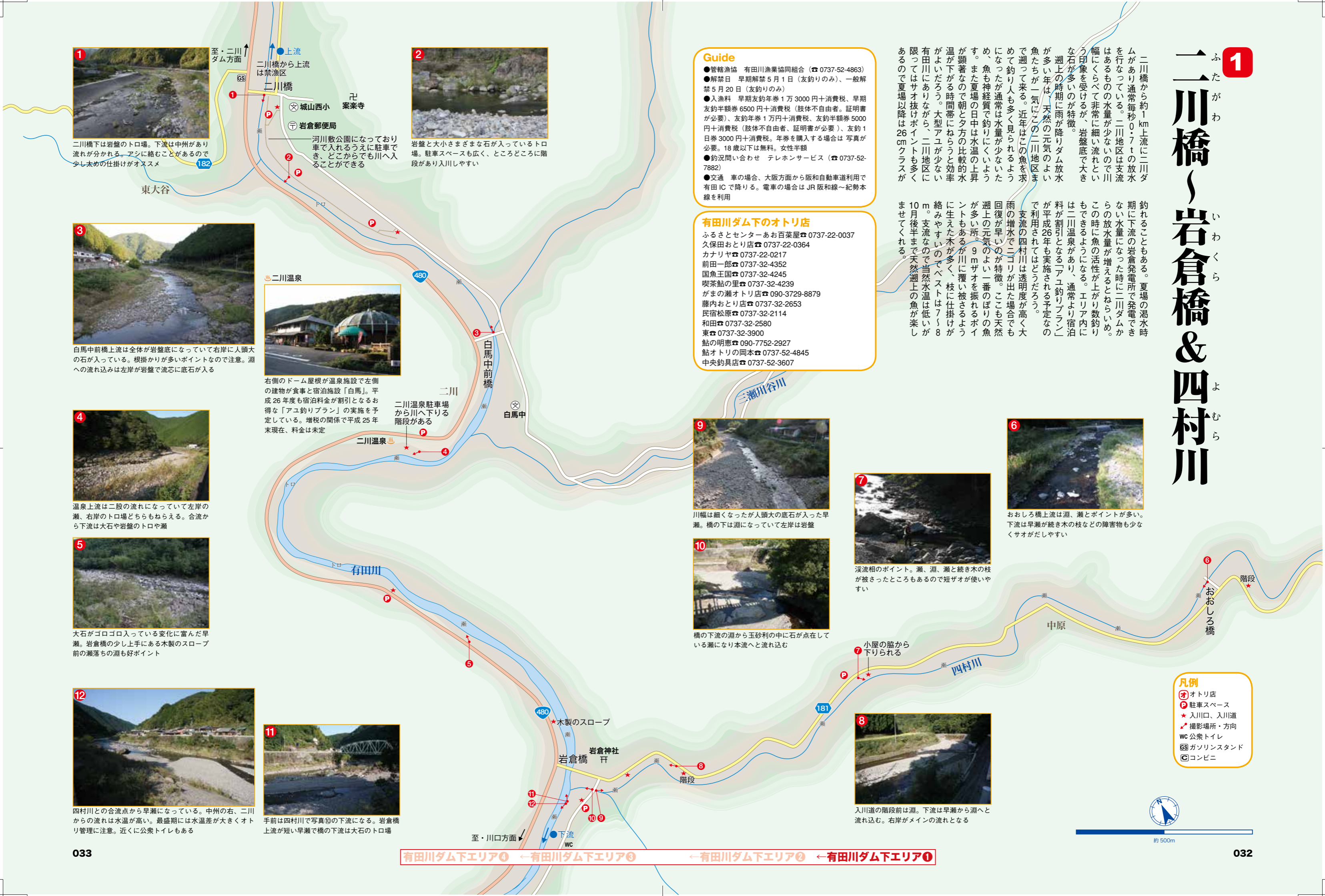
二川橋から約1km上流に二川ダムがあり通常毎秒0.7tの放水を行なっている。二川地区は支流はあるものの水量が少ないので川幅にくらべて非常に細い流れという印象を受けるが、岩盤底で大きな石が多いのが特徴。遡上の時期に雨が降りダム放水が多い年は、天然の元気のよい魚たちが一気にこの二川地区まで遡ってくる。近年はこの魚を求めて釣り人も多く見られるようになったが通常は水量が少ないため、魚も神経質で釣りにくいようす。また夏場の日は水温の上昇が顕著なので朝と夕方比較的水温が下がる時間帯にねらうと効率がよいだろう。大型アユが少ない有田川にありながら、二川地区に限ってはサオ抜けポイントも多くあるので夏場以降は26cmクラスが釣れることもある。夏場の渇水時期に下流の岩倉発電所で発電できない水量になった時に二川ダムからの放水量が増えたとねらう。この時に魚の活性が上がると釣りもできるようになる。エリア内には二川温泉があり、通常より宿泊料が割引となる「アユ釣りプラン」が平成26年も実施される予定なので利用されてはどうだろう。支流の四村川は透明度が高く大雨の増水で二ゴリが出た場合でも回復が早いのが特徴。これも天然遡上の元気のよい一番のぼりの魚が多い所。9mザオを振れるポイントもあるが川に覆い被さるような生えた木が多く、枝に仕掛けが絡みやすいのでベストは7〜8m。支流なので当然水温は低いが10月後半まで天然遡上の魚が楽しめます。

### Guide

- 管轄漁協 有田川漁業協同組合 ☎0737-52-4863
- 解禁日 早期解禁5月1日(友釣りのみ)、一般解禁5月20日(友釣りのみ)
- 入漁料 早期友釣年券1万3000円+消費税、早期友釣半額券6500円+消費税(肢体不自由者。証明書が必要)、友釣年券1万円+消費税、友釣半額券5000円+消費税(肢体不自由者。証明書が必要)、友釣1日券3000円+消費税。年券を購入する場合は写真が必要。18歳以下は無料。女性半額
- 釣況問い合わせ テレホンサービス ☎0737-52-7882
- 交通 車の場合、大阪方面から阪和自動車道利用で有田ICで降りる。電車の場合はJR阪和線〜紀勢本線を利用

### 有田川ダム下のオトリ店

ふるさとセンターあお百菜屋 ☎0737-22-0037  
 久保田おとり店 ☎0737-22-0364  
 カナリヤ ☎0737-22-0217  
 前田一郎 ☎0737-32-4352  
 国魚王国 ☎0737-32-4245  
 喫茶鮎の里 ☎0737-32-4239  
 がまの瀬オトリ店 ☎090-3729-8879  
 藤内おとり店 ☎0737-32-2653  
 民宿松原 ☎0737-32-2114  
 和田 ☎0737-32-2580  
 東 ☎0737-32-3900  
 鮎の明恵 ☎090-7752-2927  
 鮎オトリの岡本 ☎0737-52-4845  
 中央釣具店 ☎0737-52-3607



1 二川橋下は岩盤のトロ場。下流は中州があり流れが分かれる。アシに絡むことがあるので少し未だの仕掛けがオススメ



2 岩盤と大小さまざまな石が入っているトロ場。駐車スペースも広く、ところどころに階段があり入川しやすい



3 白馬中前橋上流は全体が岩盤底になっていて右岸に人頭大の石が入っている。根掛かりが多いポイントなので注意。瀬への流れ込みは左岸が岩盤で流芯に底石が入る



4 右側のドーム屋根が温泉施設で左側の建物が食事と宿泊施設「白馬」。平成26年度も宿泊料金が割引となるお得な「アユ釣りプラン」の実施を予定している。増税の関係で平成25年末現在、料金は未定



5 温泉上流は二股の流れになっていて左岸の瀬、右岸のトロ場どちらもねらえる。合流から下流は大石や岩盤のトロや瀬



6 大石がゴロゴロ入っている変化に富んだ早瀬。岩倉橋の少し上手にある木製のスロープ前の瀬落ちの瀬も好ポイント



7 四村川との合流点から早瀬になっている。中州の右、二川からの流れは水温が高い。最盛期には水温差が大きくオトリ管理に注意。近くに公衆トイレもある



8 手前は四村川で写真10の下流になる。岩倉橋上流が短い早瀬で橋の下流は大石のトロ場



9 川幅は細くなったが人頭大の底石が入った早瀬。橋の下は瀬になっていて左岸は岩盤



10 橋の下流の瀬から玉砂利の中に石が点在している瀬になり本流へと流れ込む



11 溪流相のポイント。瀬、瀬、瀬と続き木の枝が被さったところもあるので短ザオが使いやすい



12 おおしる橋上流は瀬、瀬とポイントが多い。下流は早瀬が続き木の枝などの障害物も少なくサオがしやすい



13 小屋の脇から下りられる入川道の階段前は瀬。下流は早瀬から淵へと流れ込む。右岸がメインの流れとなる

### 凡例

- オトリ店
- 駐車スペース
- ★ 入川口、入川道
- 撮影場所・方向
- WC 公衆トイレ
- Ⓜ ガソリンスタンド
- Ⓢ コンビニ



有田川ダム下エリア④ ←有田川ダム下エリア③ ←有田川ダム下エリア② ←有田川ダム下エリア①



16 オオセ。上流は二股に分かれていて左岸がメインの瀬。下流は岩盤と大石のトロ場



15 写真の上流には岩盤と石の瀬がある。橋のすぐ上は起伏のある岩盤のトロ場で好ポイント



12 通称・岩野河農協下。大小さまざまな石が入るトロ場から水深のある岩盤の急瀬になる



13 写真の急瀬からのヒラキになる。大岩と岩盤底の深瀬。下流は大きな瀬



11 岩盤のトロ瀬から大きな石の入った瀬の好ポイント。水温が低いので梅雨が明けごろから最盛期になる



10 岩倉発電所の放水口から近いので水温が低い。8月ごろからよく釣れる。放水口から上流50m、下流100mは禁漁



4 右岸寄りに石が入っているトロ。階段前から瀬で岩盤の淵になる。瀬瀬橋を渡れば駐車可



1 チャラ瀬、岩盤と石の入ったトロ場。写真にはないが下流に岩盤と石が入った瀬がある



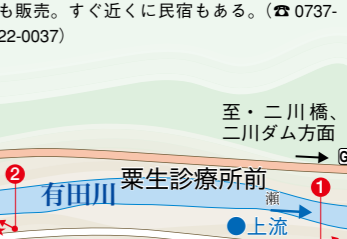
2 玉砂利底のトロ場で左岸に岩盤、右岸にサッカーボール大の石がある。終盤によく釣れる



3 大小さまざまな石がたくさん入った早瀬やチャラ瀬、岩盤のトロ場と変化に富んだポイントが続く



6 写真⑤の下流。左岸が岩盤になっているトロ場が続く。下流は早瀬と岩盤の淵



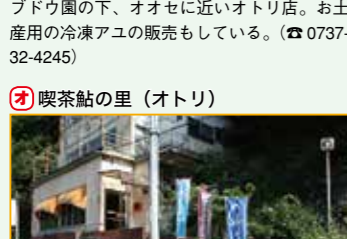
7 右岸の早瀬がメインの流れで左岸の分流は岩盤底で増水後もアカが残っていることが多い。上流にも好ポイントがある



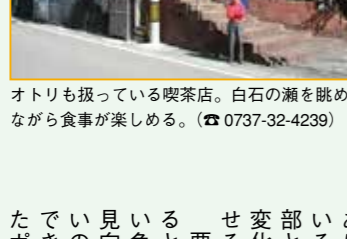
8 写真⑦の下流部。右岸の早瀬の流れ込みは底石が入っている。淵の左岸は岩盤。橋の下流は瀬



17 白石の瀬。有田川の顔といえるメジャーポイント。駐車スペースも広くアユ釣り大会の会場によく使われる



18 暁の瀬。上流は岩盤のトロ場。写真は岩盤と石の入った瀬。入川道は滑りやすいので注意



19 マワリ。右岸が岩盤で左岸に石が入っている。写真には写っていないが真ん中に大きな岩があり二股になっている

有田川町

① 国魚王国 (オトリ)



ブドウ園の下、オオセに近いオトリ店。お土産用の冷凍アユの販売もしている。(☎0737-32-4245)

② 喫茶鮎の里 (オトリ)



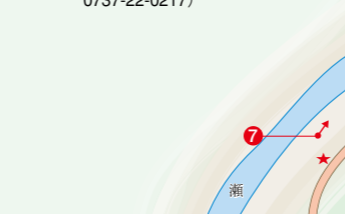
オトリも扱っている喫茶店。白石の瀬を眺めながら食事が楽しめる。(☎0737-32-4239)

③ 前田オトリの客 (オトリ)



道路から河川敷に降りたところにあるオトリ店。ご主人自身もアユ釣りやアマゴ釣りをするのでポイントに詳しい。(☎0737-32-4352)

④ カナリヤ (オトリ)



粟生・四村川の情報を詳しい。水況や釣果情報のテレホンサービスも行っている。(☎0737-22-0217)

⑤ 久保田おとり店 (オトリ)



植木橋のすぐ下流にあるオトリ店。ご主人が毎日午後から川に入って釣りをするので川の状態を常に把握している。(☎0737-22-0364)

⑥ ふるさとセンターあお百菜屋 (オトリ)



お店の前が好ポイント。駐車場、トイレもあり。オトリのほか、農産物や酒類、タバコ等も販売。すぐ近くに民宿もある。(☎0737-22-0037)

● 民宿流木民



ご主人は粟生周辺のポイントを熟知しているので、宿泊すればポイント攻略法をしっかり教えてもらえるかも!

2 粟生 (マワリ)

有田川ダム下のメインポイントがこの地区。オトリ店の数も多く遠くまでオトリ調達のため車を走らせなくてはならない。特徴として岩倉発電所の放水口を境に水量が違ってくる。上流の粟生地区は二川ダムの放水と支流の四村川からの水だけだが、発電所から下流は発電放水が合流するので当然多くなる。全体としては岩盤底のポイントもあるが握り拳からサッカーボール大の歩きやすい石が多く、女性や高齢の釣り人にもおすすめのポイント。残念なのが平成23年の水害の影響で、平成25年末現在でも未だに山崩れを起こしている所から大雨のたびに濁り水がダム湖に流入し、下流の発電放水にも二ゴリの影響が出やすいこと。粟生地区も下流ほどではないが二川ダムからの放水の二ゴリが強い場合も例外ではない。川口地区、特に白石の瀬周辺は200台は駐車可能な広い場所があり漁協が簡易トイレを設置しているの、大きな釣り大会では本部として利用される。ポイントも変化に富んでおり特に賑わいを見せる場所である。粟生地区は夏の渇水時期になると二川地区ほどではないが、賢い魚が多くハリの付いたオトリに見向きもしない。非常に釣りにくいのは確かだが、魚の習性を見学できるサイトフィッシングに適したポイントでもあると思う。



橋の下流左岸が岩盤の瀬。釣り人がいる付近から石がたくさん入ったトロと瀬になる



写真はオオタキの下流部。川まで距離があるが良型のアユがねらえるポイント



カジヤの瀬は上流に大きな瀬がある岩盤のトロ場。二股の瀬肩には大石が入っている



ボダイ。写真中央が大きな石の入った瀬。下流は岩盤底のトロ。道路から見通せる



中石の瀬の入川道下流。岩盤底と石の入った瀬が続くトロ場になっている



大きな瀬から岩盤底に石が入った瀬になっている。下流は大きな石のトロ場



岩盤と大石の入ったトロ。下流の白波が見えるあたりから左岸が岩盤底の瀬になっている



駐車スペースが少なく穴場的な釣り場。岩盤のトロ場が続く下流に瀬がある



左岸は底石がしっかりと入った瀬、手前右岸が岩盤底になっている。下流はオオタキで急流域になる



川ヶ瀬は白波の立つ急瀬から岩盤のトロ場になる。左岸の浅い流れにもよい石がある



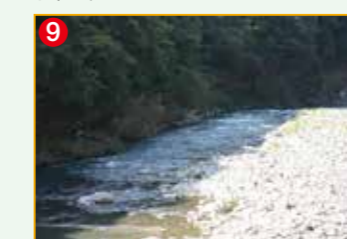
第3発電所跡。大小さまざまな石が入ったトロ場から瀬になる。河原が少なく流れ全体がポイント



大石と岩盤のトロ場。写真右の川の中央の岩が出てくる所から瀬になる



写真はクスの上流で左岸が岩盤底の瀬。駐車スペースから入川道を下りるとトロ場で下流が瀬になる



ガマの瀬。岩盤底と石の入った瀬。足元からよい石が入っており瀬肩にも石が点在



写真は第2発電所跡の瀬。下流は左岸が岩盤のトロ場。道路から見えない所に石と岩盤底の瀬がある



写真はクスの上流で左岸が岩盤底の瀬。駐車スペースから入川道を下りるとトロ場で下流が瀬になる



中石の瀬上流の水深がある岩盤底のトロ場。下流は大きな瀬



神戸下近くのオトリ店。下流から来ると石垣郵便局を過ぎて右側にお店がある。(☎0737-32-3900)



松原地区最下流のオトリ店。カベの瀬のすぐ近く。(☎0737-32-2580)



お店の前がガマの瀬。第3発電所跡に近いオトリ店。(☎090-3729-8879)



松原地区最下流のオトリ店。カベの瀬のすぐ近く。(☎0737-32-2580)



カジヤの瀬から少し下ったところにある民宿松原でオトリも販売。お店の下に好ポイントがある。(☎0737-32-2114)



前川橋のたもとにあり川ヶ瀬や宮ノ下に近いオトリ店。(☎0737-32-2653)

# 3 マワリ、神戸の下

川口地区のマワリから下流のイワガキまでは岩盤底のポイントが多くよい釣り場が続くが、滝ブロッコ下からガマの瀬まで道路の道幅が狭いのが難点(さらに下流にも道幅の狭いポイントがある)。駐車スペースも少なくアユの釣りに問題が釣りに少ないのが現状だが、クスの瀬からカベの瀬までは道幅も広く充分な駐車スペースがある。ただし、この地区は小石で歩きやすい河原ではなく、移動は岩盤の上、または川の中と動きづらいポイントがほとんどなので脚力に自信のある方におすす。この地区内での最下流、神戸の下から下流の川底は小石底の多いポイントで、言い換えれば大きな増水時に地形が変わりやすいポイントが多いのだが、毎年安定した釣果が得られるポイントでもある。また近くには町営の温泉施設、かなや明恵温泉があり、ひとつ風呂浴びて帰るのもよいだろう。



高台にあり有田川を一望できる露天風呂が人気の町営温泉。食事もできる。毎月第2金曜と年末3日間は休館



流れが右岸から左岸に流れ込んだあたりもポイントだが、コンクリートの破片が多いので注意が必要



河川敷にキャンプ場がありアクセスしやすいポイントだが、コンクリートの破片が多いので注意が必要



この地区では一番ポイントが多く釣り場までのアクセスもよい駅裏と呼ばれる場所。上流の瀬肩から下流のトロ場まで10人程度(20m間隔)は釣りができる変化に富んだところ。道路からもその状況が確認できる



写真⑨からこの場所までに、ところどころポイントがある。大きな石が少ないので、ここも8月後半からが本番



すぐ下流に堰堤があり、そこに溜まったアユがこの瀬に差してくる。ただしブラックバスに注意



ご主人はアユ釣り大会には出場しないものの、かなりの腕達者でポイントも熟知しているので泊まる価値あり。有田川漁協の遊漁券を提示すると500円引きしてくれる



有田川最下流のオトリ店。通称・駅裏ポイントの近くにあるお店。(☎0737-52-3607)



フンセに近い新金屋橋のたもとにあるオトリ店。おばちゃんが丁寧にオトリを入れてくれる。(☎0737-52-4845)



明恵大橋のすぐそばのオトリ店。常連さんが橋の下で釣りする場合にはデリバリーでオトリを橋の上からロープを使って届けてくれること。(☎090-7752-2927)

# オマタの瀬

## 田殿大橋

神戸の下から下流に向かうと明恵大橋があり、ここから下流の金屋までオトリ店が3軒。高速道路近辺で釣りをしたい場合はオトリ調達のためここまで足を運んでもらう必要があるが、どのお店もインターから5〜10分と便利なところである。

平成23年の水害でも流れが変わったが平成25年の台風の増水でも随分と川の地形が変わった。今後も変化の可能性が充分あるので写真は参考としてほしい。それでも毎年そこそこの釣果が出ているポイントを紹介しよう。

このエリアには分りやすい岩盤底のポイントはなく、一見分りにくい川底に変化のあるところが多く釣れるので、随時オトリ店などで確認するのが無難だ。見た目に変化の少ない流れをしているが、川に入ってビックリ！意外と川底に変化の多い場所がある。下流域で注意してもらいたいのは旧金屋橋から下流はチヨウバリを数段付けた、現地で「ゴロ」と呼ばれる素掛けと、「一把投げ」と呼ばれる網漁がOKとなっていること。トラブルのないように心がけたい。

- 有田川ダム下エリア④ ←有田川ダム下エリア③ ←有田川ダム下エリア② ←有田川ダム下エリア①